

山

を考える

動物編

生物多様性の宝庫といわれる日本列島。この豊かな自然を知るうえで欠かせない動物たちについて、山や森に暮らす10種類をとりあげました。



「山の日」制定協議会

山を知る10の



Q&A 動物編

1 シカが増えて野山の植物などに被害が出ています。次の中で、シカとは関係がない被害はどれでしょう？

- ① 樹木の皮を食べて枯らしてしまう
- ② 落ちた木の実を食べて木が生えなくなる
- ③ 地面を掘り起こし大きな穴をあける



2 日本にいるライチョウの数はおよそ3000羽といわれ※、絶滅が心配されていますが、以下の記述で正しいのはどれでしょう？

※ 富山県と環境省の生息調査による

- ① 冬になると白くなる
- ② 雷が鳴ると現れる
- ③ 養鶏場のニワトリと同じで飛べない

3 最近クマが里に下りてきて人に危害を加えるニュースが目立ちます。では、本州に生息する野生のクマはどれでしょう？

- ① ヒグマ
- ② ツキノワグマ
- ③ ニホングマ



4 ニホンカモシカは代表的な高山の動物で、特別天然記念物に指定されています。さてカモシカは何科でしょう？

- ① シカ科
- ② ウシ科
- ③ ウマ科



5 日本には、南の屋久島から北の下北半島までたくさんのサルがいます。さて、日本には何種類の野生ザルがいるのでしょうか？

- ① 1種類
- ② 5種類
- ③ 12種類



6 本州や九州などに生息する野生のイノシシはニホンイノシシです。イノシシの子どもは何と呼ばれているのでしょうか？

- ① イノブタ
- ② ウリボウ
- ③ イノコ



7 大空を悠々と飛んでいるイヌワシ。タカ科に属する猛禽類ですが、さて、ワシとタカはどう違うのでしょうか。正しい答えは？

- ① 幼鳥がタカで親になるとワシ
- ② クチバシの形で区別される
- ③ 分類学上の区別はない



8 ネズミに似た小動物で樹上に住み、森の守り神といわれて親しまれているヤマネ。ヤマネが日本列島にやってきたのはいつごろでしょう？

- ① 50万年より前
- ② 縄文時代前期
- ③ 平安時代



9 いかにも北海道らしい名前のついたキタキツネ。草原から高山帯まで広く生息しています。さて、次の中で間違っているのは？

- ① 世界中で北海道にだけ住む固有種
- ② タヌキと同じネコ目イヌ属
- ③ ホンドギツネより大きい



10 ヤマカガシはシマヘビやアオダイショウとともに日本でよく見かけるヘビです。北海道などを除いて全国に分布しています。正しいのはどれ？

- ① ヒキガエルは天敵だから食べない
- ② 泳げない
- ③ 毒をもっている

